

横浜開港資料館 平成 28 年度第 4 回企画展示

横浜開港資料館開館 35 周年記念 時を超えて・ハマの史跡の物語

1. 展示会期など

会 期 : 平成29年2月1日(水)～平成29年4月23日(日)

会 場 : 横浜開港資料館 新館 企画展示室

開館時間 : 9:30～17:00(入館は16:30まで)

3月の水曜日は19時まで開館(入館は18:30まで)

観 覧 料 : 一般200円、小中学生100円

休 館 日 : 月曜日(3月20日は開館)、3月21日

主 催 : 横浜開港資料館

共 催 : 横浜市教育委員会

協 力 : 横浜市史資料室

後 援 : 朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk、横浜郷土史団体連絡協議会

2. 展示趣旨

横浜開港資料館は、横浜市が行った市史編纂事業の過程で収集した資料を基礎に、国内外から収集した資料を広く市民に公開する施設として、昭和 56(1981)年 6 月 2 日に開館しました。平成 28 年の開港記念日に、開館 35 周年を迎えました。本展示は当館開館 35 周年を記念し開催します。

歴史を今に伝えるものには、文書や写真といった資料とともに、地域に残された史跡があります。史跡は、人々の営みや昔の建物、歴史的イベントがあった場所などのなかで、特に歴史上貴重であると考えられ選定された場所で、市域にも数多く残されています。

横浜市が初めて史跡の選定を行ったのは、第一次市史編纂事業で『横浜市史稿』全 11 巻刊行後のことでした。郷土史家らにより行われた史跡の選定は、郷土に残された歴史的遺跡の意義を明らかにし、歴史を記録・継続しようとする強い思いが込められました。本展示では、史跡選定の歴史を、主に当館が所蔵する郷土史家関係資料で振り返り、横浜における史跡の意義を考えます。

3. 展示構成

1 「歴史ブーム」始まる

2 震災前の横浜名所

3 横浜の史跡

4 新聞読者の投票による名勝・史跡

5 史跡巡り

6 市域の拡張と史跡

4. おもな展示資料 (全展示数 約 120 点)

- ① 史跡標設置のため小机城址を見分する横浜史料調査委員会の委員たち 昭和 9(1934)年 11 月 横浜開港資料館所蔵



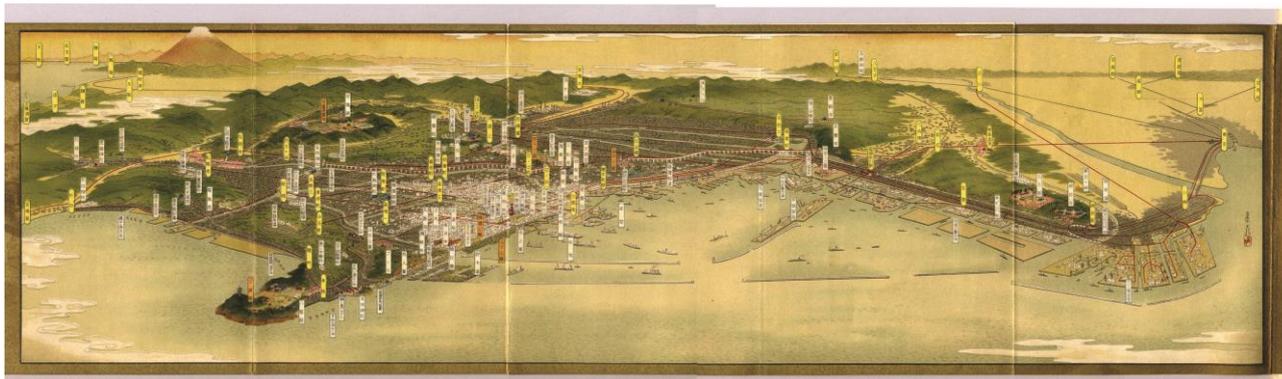
昭和 9(1934)年 3 月に設置された横浜史料調査委員会は、まず史跡の選定に取りかかり、翌年 3 月までに史跡 28ヶ所、名勝 2ヶ所の選定を行った。

- ② 「横浜名勝競 内田町よりステーションの図」 歌川国松(画) 明治 13(1880)年 横浜開港資料館所蔵



昭和 10(1935)年 3 月に選定された横浜の史跡 28ヶ所には、初代横浜駅(現在の桜木町駅)も選ばれた。浮世絵の奥に描かれている青い建物が、初代横浜駅である。しかし現在の国・神奈川県および横浜市が指定・登録する史跡に、初代横浜駅は選ばれていない。

③ 「伸び行く大横浜」 日本名所図絵社編 横浜市中興会刊 昭和 8(1933)年 12 月 横浜開港資料館所蔵



関東大震災後、横浜市は、震災復興と「大横浜」をスローガンに、港湾機能の充実、工業地帯の建設、市域拡張、交通機能の拡充を行い、工業都市へと変貌していった。「大横浜」の完成は、昭和 10(1935)年に行われた復興博に象徴されるが、復興博目指して行われた史跡の選定は、市民意識の向上を目指すとともに、横浜を訪れる観光客招致策でもあった。

④ 日米和親条約締結の地石碑 2016 年 12 月撮影



横浜開港資料館の隣にある開港広場に設けられた石碑。この石碑は、昭和 29(1954)年に開催された開国百年祭の際、横浜市が開国・開港に関する史跡 12ヶ所に設けた石碑の一つである。本石碑以外の 11ヶ所の石碑は、縦長の四角い石碑であるが、本史跡のみ地球儀のように円形をしている。

5. 展示関連事業

●展示担当者による展示解説

- 〔日 時〕 第1回 3月18日(土) 14:00開始
第2回 3月29日(水) 18:00開始
第3回 4月2日(日) 14:00開始
各回30分程度を予定しております。
入館券をお持ちのうえ、新館2階企画展示室入口にお集まりください。

●横浜シティガイド協会主催「平成史跡めぐり」

横浜シティガイド協会の案内によるハマの史跡めぐりです。

- 〔日 程〕 第1回:3月5日(日)、第2回:3月18日(土)
〔コース〕 〈第1回〉
9:30横浜開港資料館集合(ミニ講座&見学)～日本大通り～横浜公園～
吉田橋～野毛山～掃部山～13:00初代横浜駅解散(予定)
〈第2回〉
9:30横浜開港資料館集合(ミニ講座&見学)～JR 関内駅～JR 東神奈川駅～
神奈川宿探訪～京急仲木戸駅～京急生麦駅～13:00生麦事件跡解散(予定)
〔定 員〕 各50名
〔参加費〕 各500円(入館料・交通費は別途各自負担)
〔申し込み・
お問合せ〕 横浜シティガイド協会
Tel:045-228-7678、Fax:045-228-7693
またはホームページ(<http://www.ycga.com/>)から

| お問合せ先 | | | |
|---------|------|-------|------------------|
| 横浜開港資料館 | 展示担当 | 石崎 康子 | TEL 045-201-2136 |
| | 副館長 | 西川 武臣 | TEL 045-201-2100 |

*画像データをご要望の場合は右へ、ご連絡ください。横浜開港資料館 田中(広報) TEL:045-201-2100